

教科・科目		対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
保健体育・保健		2年	1	現代高等保健体育（大修館）	現代高等保健体育ノート（大修館）
科目の概要と目標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や態度を育てる。			
授業の進め方		- 教科書や配布するプリントを中心に授業を進める。 - 項目によって、調べ学習とプレゼンテーションを行う。			
評価の観点と方法		- 授業への取り組みでは、「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」を評価する。 - 定期考査では、科目の到達目標をふまえた問題で、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 - 課題では、「知識・技能」「主体的に取り組む態度」を評価する。			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標	
年間 の 授 業 内 容	1 学 期	3 単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活		1 ライフステージと健康の関連について説明できる。 2 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。 3 性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。 4 性意識の男女差について例をあげて説明できる。 5 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 6 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 7 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 8 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 9 加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 10 働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 11 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 12 職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 13 余暇をとることの意義について説明できる。	
	2 学 期	4 単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動		1 大気汚染の原因と健康への影響について説明できる。 2 大気にかかわる地球規模の健康問題について説明できる。 3 水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 4 大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 5 環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 6 産業廃棄物の処理について説明できる。 7 ごみの処理の現状とその課題について説明できる。 8 上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 9 食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 10 食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 11 食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。	
	3 学 期	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品と健康 10 医薬品と健康 11 健康に関する環境づくりと社会参加		7 保健行政の役割について例をあげて説明できる。 8 保健サービスの活用について例をあげることができる。 9 わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 10 さまざまな医療機関の役割について説明できる。 11 医薬品の正しい使用法について説明できる。 12 医薬品の安全性を守る取り組みについて説明できる。 13 国際機関・民間機関などの保健活動について説明できる。 14 行政機関による社会的対策について説明できる。 15 健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 16 環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	